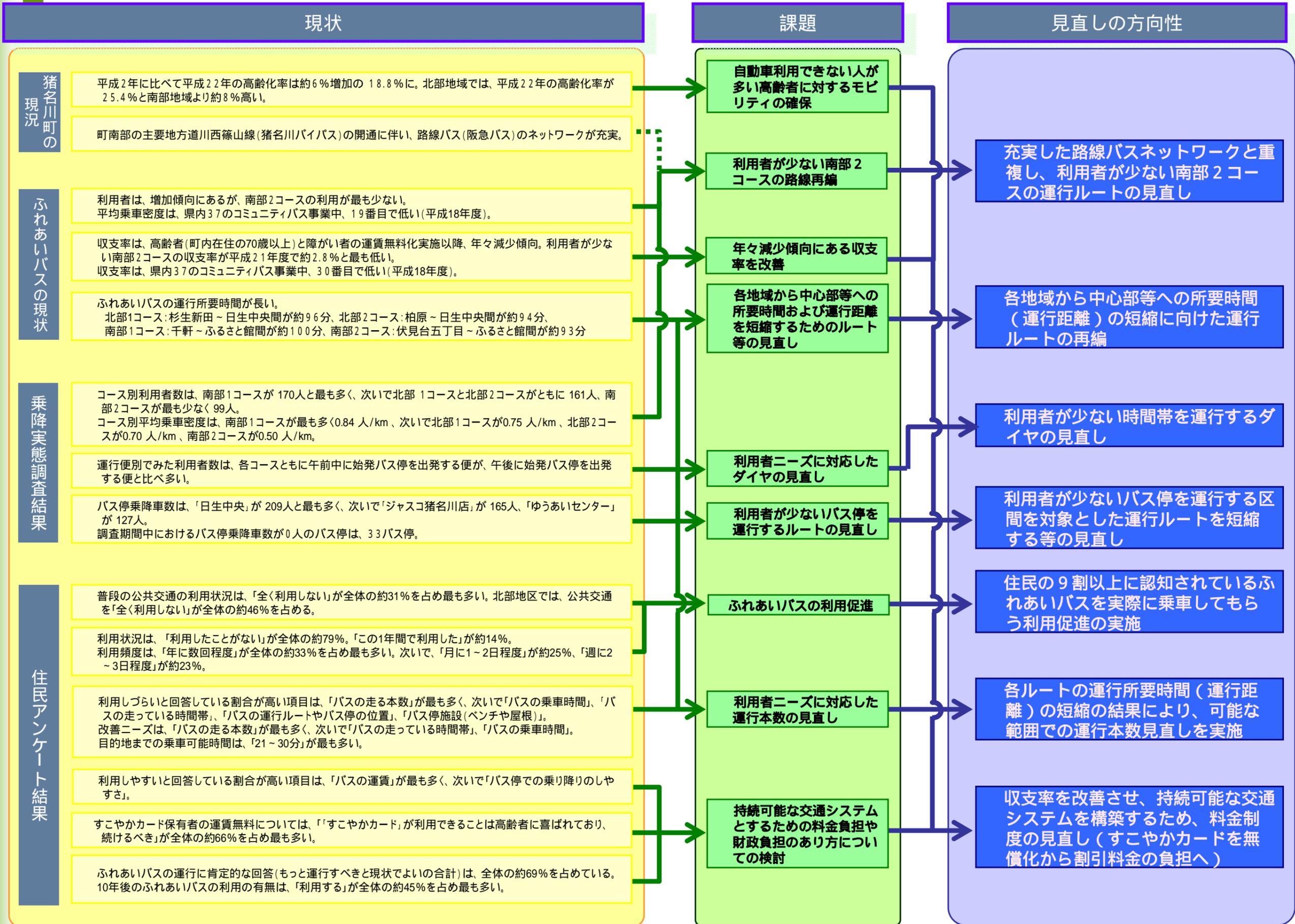


ふれあいバスの見直しについて

平成23年3月2日

ふれあいバス見直しの方向性

前回の公共交通会議資料再掲



ふれあいバスの運行目的と目標

平成12年4月1日より運行開始（バス1台：定員35人）

町内を広く、
きめこまかく運行

平成13年11月22日より2台で運行

平成18年5月1日より町内在住の70歳以上の方（「すこやかカード」の提示必要）と身体・知的・精神障害者の手帳所持者は無料に

～運行開始から約10年が経過～

ふれあいバスの導入目的

- ・高齢者、障がい者など車を運転されない方への移動手段確保。
- ・交通空白地の解消（町内全域を走行）。
- ・公共施設へのアクセス向上、利用活性化。

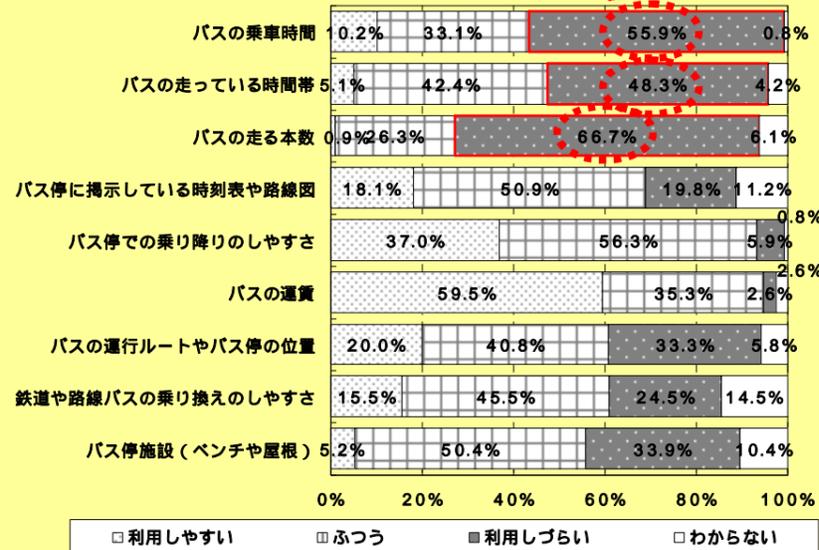


ふれあいバス運行に課題が...

平成22年7月 ふれあいバス利用実態調査
平成22年9月 住民アンケート実施

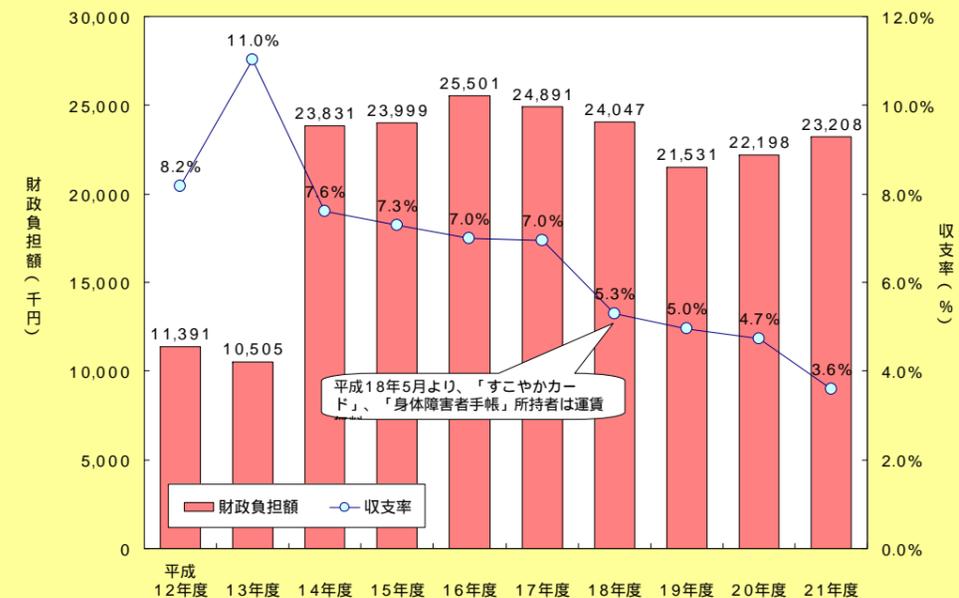
利用者ニーズに合っていない

問 ふれあいバスの利用のしやすさ



ふれあいバスを利用しづらい人が多い

ふれあいバス運行への財政投資額が年々増加

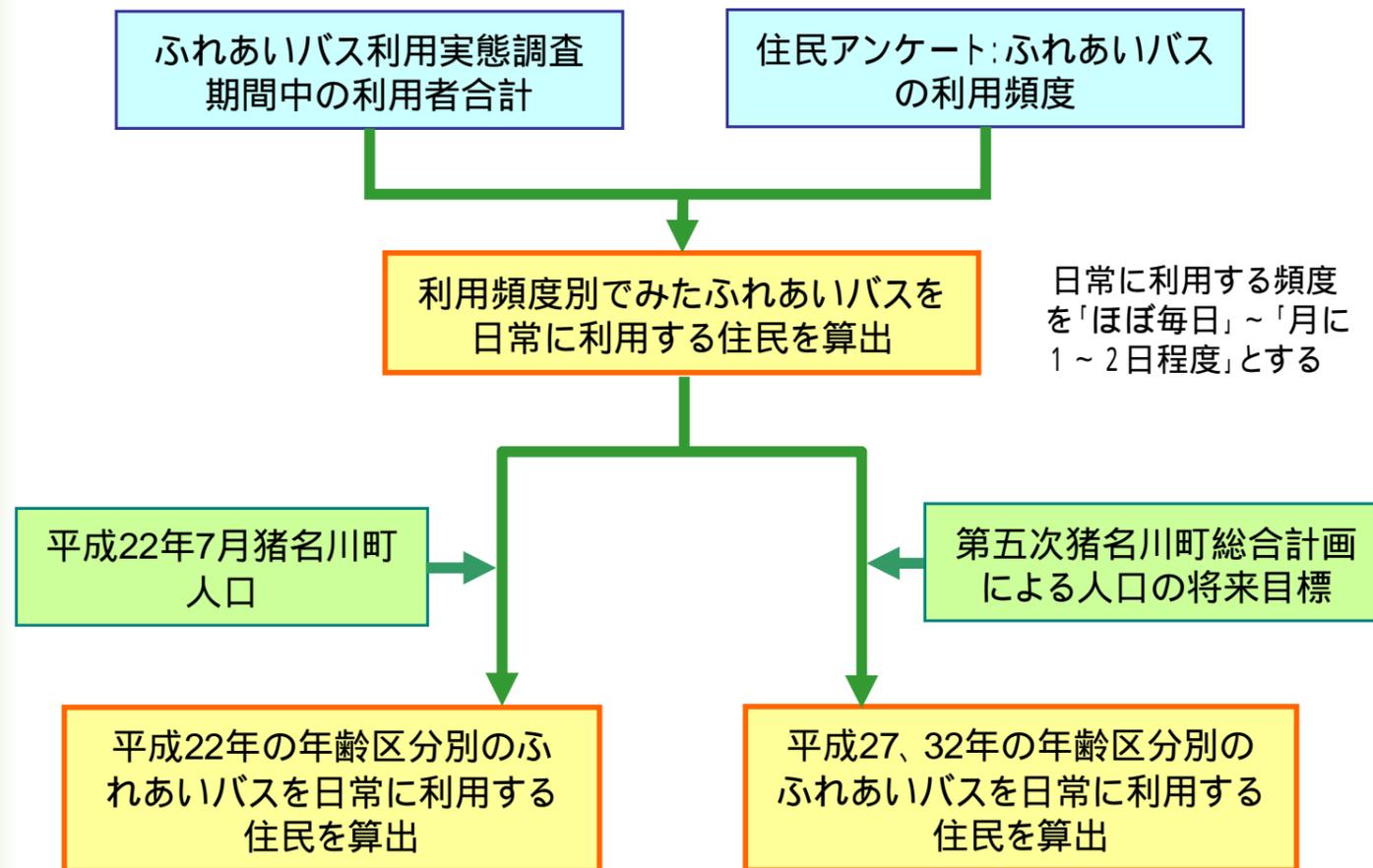


みんなが便利で利用しやすく、持続可能な公共交通へ見直し

ふれあいバスを日常に利用する住民の予測

- ・ふれあいバス利用実態調査(平成22年7月実施)及び住民アンケート(平成22年9月実施)の結果をもとに、ふれあいバスを日常に利用する住民を算定する(現在、5年後、10年後の3ケース)。
- ・平成22年のふれあいバスを日常に利用する住民は、589人である。
- ・将来は、ふれあいバスの最も多い利用者層である65歳人口が増加するため、5年後の平成27年で約742人、10年後の平成32年で約881人に増加すると想定され、利用者ニーズに応じたふれあいバスの運行が望まれる。

ふれあいバスを日常に利用する住民の算出の考え方



ふれあいバスを日常に利用する住民

	平成22年	平成27年	平成32年
小学生以下(～12歳)	4.0	3.6	3.2
中学生以上の学生(12～20歳)	27.9	27.7	28.6
成人1(20～40歳)	11.0	10.8	10.3
成人2(40歳～65歳)	44.9	45.7	45.4
高齢者(65歳～69歳)	167.5	212.5	221.0
高齢者(70歳以上)	333.8	441.6	572.3
計	589.1	741.8	880.8
猪名川町の人口	32,529	34,017	35,016
ふれあいバスを日常に利用する住民が人口に占める割合	1.8%	2.2%	2.5%

ふれあいバスを日常に利用する住民(構成割合)

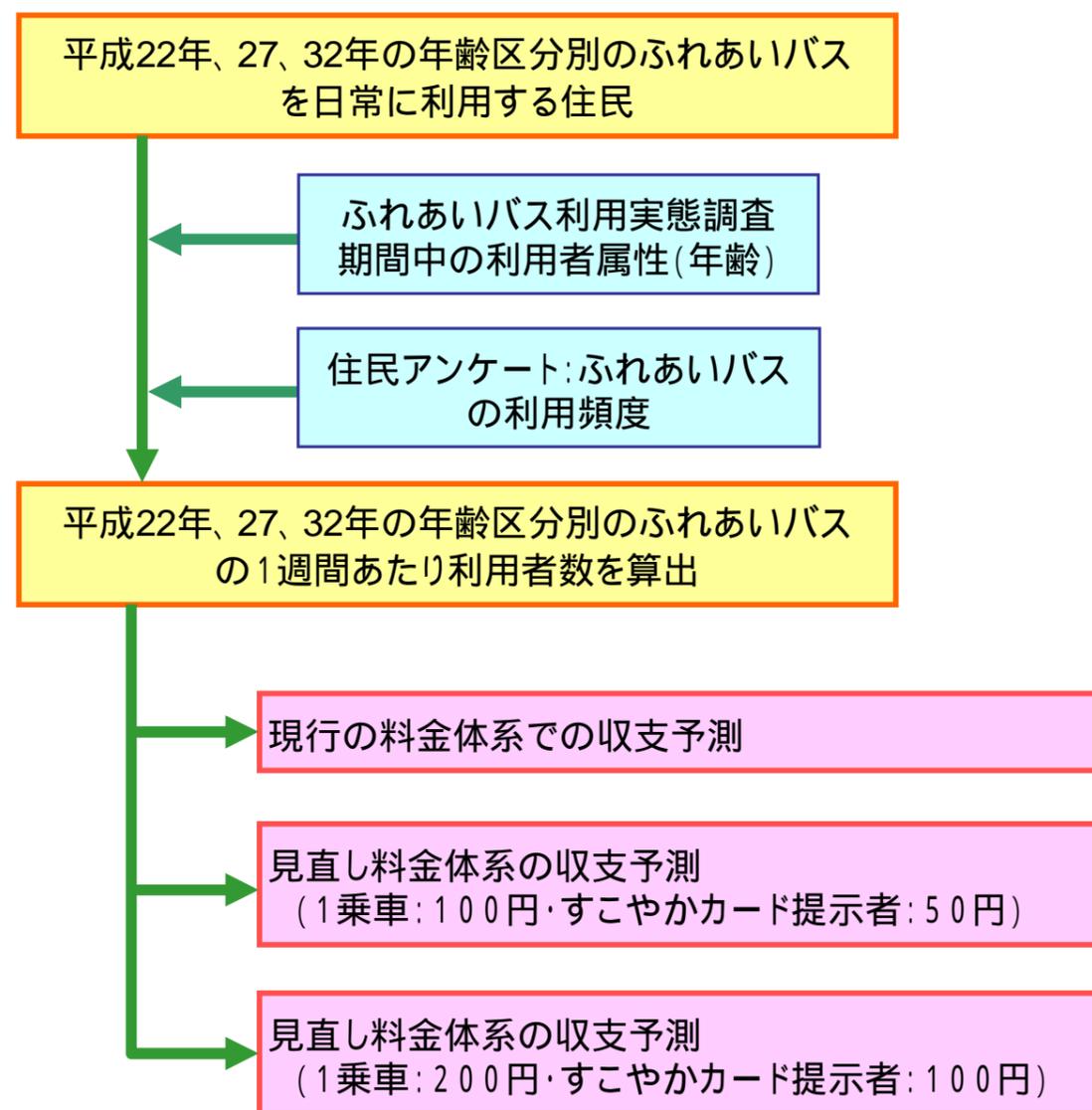
	平成22年	平成27年	平成32年
小学生以下(～12歳)	0.7%	0.5%	0.4%
中学生以上の学生(12～20歳)	4.7%	3.7%	3.2%
成人1(20～40歳)	1.9%	1.5%	1.2%
成人2(40歳～65歳)	7.6%	6.2%	5.2%
高齢者(65歳～69歳)	28.4%	28.6%	25.1%
高齢者(70歳以上)	56.7%	59.5%	65.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%

平成22年は、ふれあいバス利用実態調査を実施した時期と合わせるためH22年7月末時点の人口とする
 出典:平成22年は平成22年度年齢別人口一覧表 猪名川町生活部住民生活課ホームページ、『第五次猪名川町総合計画』(平成22年3月 猪名川町)による人口の将来目標

ふれあいバスの料金体系変更による収支予測

- ・前述のふれあいバスを日常に利用する住民より、1週間あたりのふれあいバス利用者数を算出し、運行収入及び収支率を算定する。
- ・料金体系は、現行の料金体系、見直し料金体系2ケース(1乗車:100円・すこやかカード提示者:50円と1乗車:200円・すこやかカード提示者100円)とする。
- ・算定した収支率をみると、現行の料金体系では年々減少傾向にあるが、見直し料金体系の2ケースは収支率が将来にわたり、改善されるものと考えられる。

ふれあいバスの料金体系変更による収支予測の考え方



現行の料金体系の収支予測

	平成22年	平成27年	平成32年
1週間あたり利用者数(人)	591.0	744.2	883.7
うち70歳以上利用者数(人)	334.9	443.0	574.1
現金・ICカード等(円)	25,150.7	29,579.5	30,400.1
すこやかカード等(円)	0	0	0
1週間あたりの収入(円)	25,150.7	29,579.5	30,400.1
1週間あたり運行経費(円)	445,091.4	445,091.4	445,091.4
収支率	5.7%	6.6%	6.8%

見直し料金体系の収支予測

(1乗車:100円・すこやかカード提示者:50円)

	平成22年	平成27年	平成32年
1週間あたり利用者数(人)	591.0	744.2	883.7
うち70歳以上利用者数(人)	334.9	443.0	574.1
現金・ICカード等(円)	25,607.5	30,116.6	30,952.1
すこやかカード等(円)	16,746.3	22,151.6	28,707.3
1週間あたりの収入(円)	42,353.7	52,268.2	59,659.4
1週間あたり運行経費(円)	445,091.4	445,091.4	445,091.4
収支率	9.5%	11.7%	13.4%

見直し料金体系の収支予測

(1乗車:200円・すこやかカード提示者:100円)

	平成22年	平成27年	平成32年
1週間あたり利用者数(人)	591.0	744.2	883.7
うち70歳以上利用者数(人)	334.9	443.0	574.1
現金・ICカード等(円)	51,214.9	60,233.2	61,904.2
すこやかカード等(円)	33,492.5	44,303.2	57,414.6
1週間あたりの収入(円)	84,707.5	104,536.4	119,318.8
1週間あたり運行経費(円)	445,091.4	445,091.4	445,091.4
収支率	19.0%	23.5%	26.8%

【参考】
県内のコミュニティバス事業の収支率の平均(平成18年度)
24.2%

ふれあいバス見直し素案

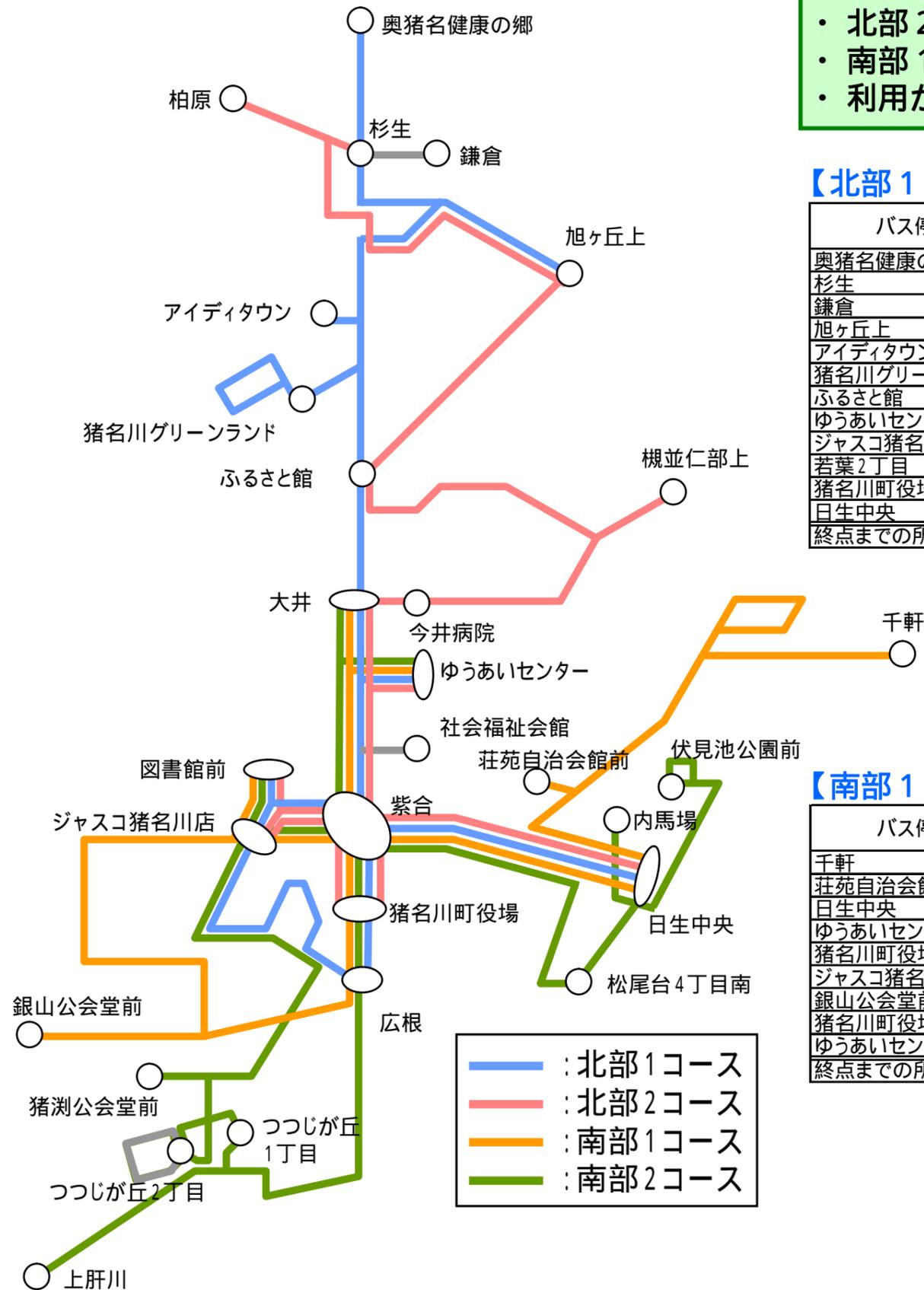
ふれあいバス見直し素案一覧

項目	見直し案(その1) 【現行ルートを見直し】	見直し案(その2) 【ルートを見直し】	見直し案(その3) 【ルートを見直し】	見直し案(その4) 【ルート・車両を見直し】
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行のルートを見直し ・ 北部2のルートの一部見直し、ジャスコ猪名川店等への所要時間を短縮 ・ 南部1及び南部2コースは、ゆうあいセンター止りに短縮 ・ 利用が少ない区間は運行休止 ・ 運行回数は変更なし(週3日運行、1運行日あたり2往復の運行) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北部地域からジャスコ猪名川店へのアクセス確保 ・ 南部地域からゆうあいセンターへのアクセス確保 ・ 南部地域は、路線バスとの重複区間を大幅に削減 ・ 利用が少ない区間は運行休止 ・ 路線短縮等により、1日3往復が可能に(週3日運行) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北部地域からジャスコ猪名川店へのアクセス確保 ・ 南部地域からゆうあいセンターへのアクセス確保 ・ 北部地域の運行ルートを1コースに集約 ・ 利用が少ない区間は運行休止 ・ 路線短縮等により、毎日2往復運行可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北部地域にデマンド交通を導入 ・ 北部地域は基幹交通とフィーダー交通(デマンド)に路線を区分 ・ 南部地域からゆうあいセンターへのアクセス確保 ・ 利用が少ない区間は運行休止 ・ 路線短縮等により、Aコース:4往復、Bコース:3往復、Cコース:2往復運行可能(Aコース毎日運行、B・Cコース週3日運行)
コース案	<p>4コースで運行</p> <p>北部1コース 奥猪名健康の郷～旭ヶ丘～ふるさと館～ゆうあいセンター～ジャスコ猪名川店～猪名川町役場～日生中央</p> <p>北部2コース 柏原～旭ヶ丘～(木間生旭ヶ丘線経由)～ふるさと館～ゆうあいセンター～ジャスコ猪名川店～猪名川町役場～日生中央</p> <p>南部1コース 千軒～上阿古谷～日生中央～松尾台～ゆうあいセンター～猪名川町役場～ジャスコ猪名川店～伏見池公園前～猪名川町役場～ゆうあいセンター</p> <p>南部2コース ゆうあいセンター～猪名川町役場～ジャスコ猪名川店～猪名川町役場～ゆうあいセンター～日生中央～伏見池公園前～日生中央～内馬場</p>	<p>4コースで運行</p> <p>Aコース 奥猪名健康の郷～旭ヶ丘～ふるさと館～ゆうあいセンター～ジャスコ猪名川店～猪名川町役場</p> <p>Bコース 柏原～旭ヶ丘～(木間生旭ヶ丘線経由)～ふるさと館～ゆうあいセンター～ジャスコ猪名川店～猪名川町役場</p> <p>Cコース 千軒～上阿古谷～日生中央～松尾台～猪名川町役場～ジャスコ猪名川店～ゆうあいセンター～槻並仁部上～東山</p> <p>Dコース 猪名川台南公園前～つつじが丘～猪名川町役場～银山公会堂前～猪名川町役場～ジャスコ猪名川店～ゆうあいセンター～日生中央～伏見池公園前～日生中央～内馬場</p>	<p>3コースで運行</p> <p>Aコース 柏原～旭ヶ丘～アイディタウン～猪名川グリーンランド～ふるさと館～ゆうあいセンター～ジャスコ猪名川店～猪名川町役場</p> <p>Bコース 千軒～上阿古谷～日生中央～松尾台～猪名川町役場～ジャスコ猪名川店～ゆうあいセンター～槻並仁部上～東山</p> <p>Cコース 猪名川台南公園前～つつじが丘～猪名川町役場～银山公会堂前～猪名川町役場～ジャスコ猪名川店～ゆうあいセンター～日生中央～伏見池公園前～日生中央～内馬場</p>	<p>3コース+デマンド交通で運行</p> <p>Aコース 杉生～旭ヶ丘～アイディタウン～猪名川グリーンランド～ふるさと館～ゆうあいセンター～ジャスコ猪名川店～猪名川町役場</p> <p>Bコース 千軒～上阿古谷～日生中央～松尾台～猪名川町役場～ジャスコ猪名川店～ゆうあいセンター～槻並仁部上～東山</p> <p>Cコース 猪名川台南公園前～つつじが丘～猪名川町役場～银山公会堂前～猪名川町役場～ジャスコ猪名川店～ゆうあいセンター～日生中央～伏見池公園前～日生中央～内馬場</p>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭ヶ丘からジャスコ猪名川店への所要時間がBコース利用で最大14分短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日あたりの運行回数が各コース3往復 ・ 旭ヶ丘からジャスコ猪名川店への所要時間がBコース利用で最大28分短縮 ・ 千軒からジャスコ猪名川店への所要時間がCコース利用で32分短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各コース毎日運行が可能に(ただし、運行回数は現状のまま) ・ 柏原からジャスコ猪名川店への所要時間がAコース利用で13分短縮 ・ 千軒からジャスコ猪名川店への所要時間がCコース利用で32分短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行コースの組み合わせ方法では、1日3往復の運行が可能に ・ 旭ヶ丘からジャスコ猪名川店への所要時間がAコース利用で最大28分短縮 ・ 千軒からジャスコ猪名川店への所要時間がCコース利用で32分短縮
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行のコースをベースとして部分的な見直しとなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北部地域から日生中央へは、路線バス利用が原則となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北部地域から日生中央へは、路線バス利用が原則となる ・ 北部地域の奥猪名健康の郷～杉生間からジャスコ猪名川店へは路線バスからふれあいバスへ乗継が必要になる(乗継拠点候補:杉生) ・ 杉生～紫合間は、路線バスとAコースがほぼ同時帯に運行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北部地域ではデマンドで乗継拠点へ移動し、ふれあいバスに乗継が必要である ・ デマンド交通運行のための車両手配が必要(ワゴン車相当の規模を想定) ・ デマンド運用のシステム構築が必要
運行車両数	2台	2台	2台	2台 + (デマンド交通で運行する車両)

ふれあいバス見直し素案

見直し案(その1)

【現行ルートを見直し】



— : 北部1コース
— : 北部2コース
— : 南部1コース
— : 南部2コース

- ・ 現行のルートを見直し
- ・ 運行日及び運行回数は変更なし(週3日運行、1運行日あたり2往復)
- ・ 北部2のルートの一部見直し、ジャスコ猪名川店等への所要時間を短縮
- ・ 南部1及び南部2コースは、ゆうあいセンター止りに短縮
- ・ 利用が少ない区間は運行休止

【北部1コース】

バス停名称	所要時間(分)	備考
奥猪名健康の郷	-	起点
杉生	8	
鎌倉	2	
旭ヶ丘上	8	
アイディタウン	14	
猪名川グリーンランド	5	
ふるさと館	8	
ゆうあいセンター	13	
ジャスコ猪名川店	8	
若葉2丁目	8	
猪名川町役場	8	
日生中央	11	終点
終点までの所要時間	93	

【北部2コース】

バス停名称	所要時間(分)	備考
柏原	-	起点
杉生	8	
旭ヶ丘上	8	
町道木間生・旭ヶ丘線	(経由)	
ふるさと館	7	
槻並仁部上	12	
ゆうあいセンター	20	
ジャスコ猪名川店	8	
猪名川町役場	11	
日生中央	11	終点
終点までの所要時間	85	

【南部1コース】

バス停名称	所要時間(分)	備考
千軒	-	起点
荘苑自治会館前	17	
日生中央	14	
ゆうあいセンター	13	
猪名川町役場	15	
ジャスコ猪名川店	4	
岡山公会堂前	12	
猪名川町役場	10	
ゆうあいセンター	9	終点
終点までの所要時間	94	

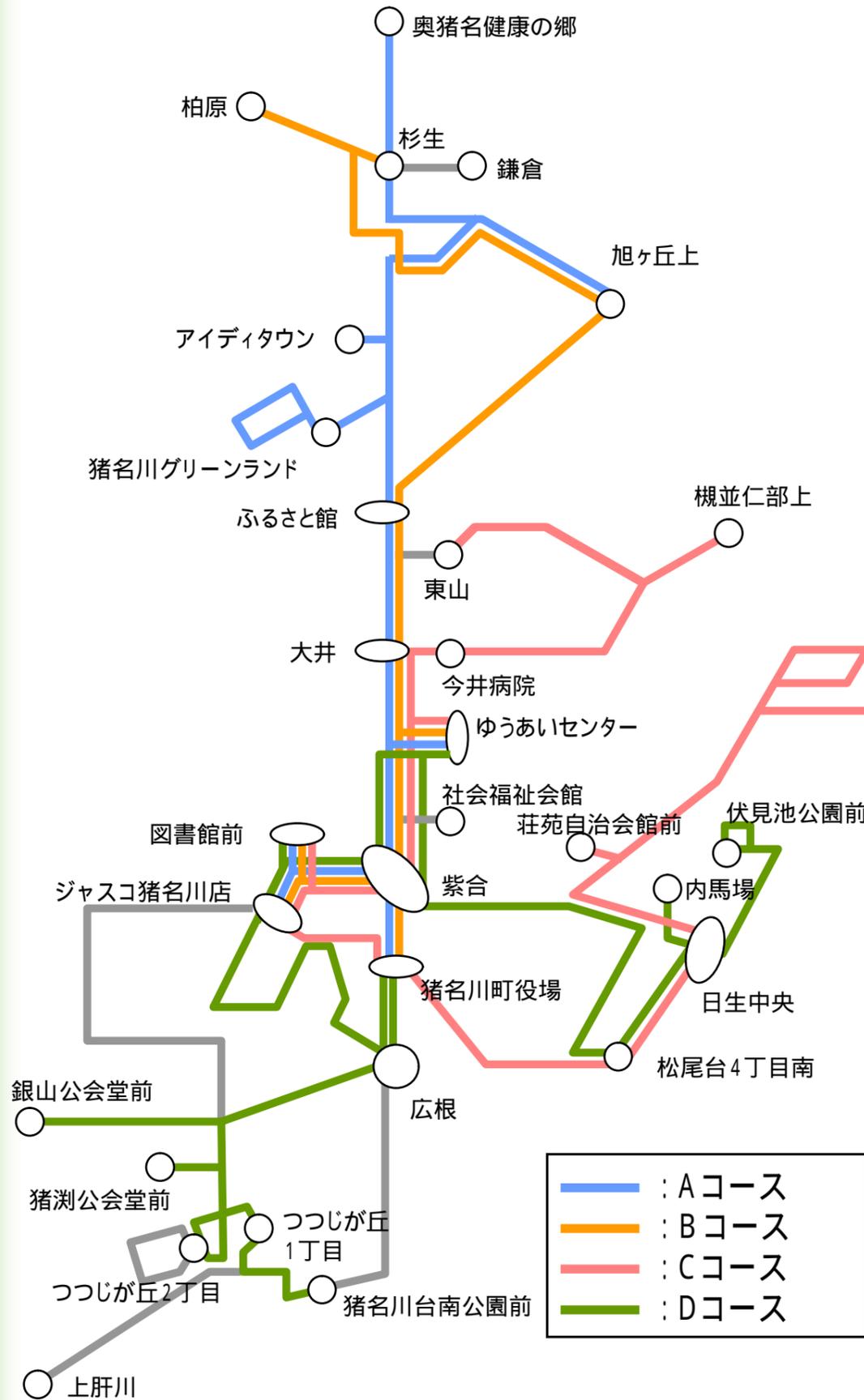
【南部2コース】

バス停名称	所要時間(分)	備考
内馬場	-	起点
日生中央	4	
伏見台	(経由)	
日生中央	18	
松尾台	(経由)	
日生中央	14	
ゆうあいセンター	12	
猪名川町役場	15	
ジャスコ猪名川店	4	
猪淵公会堂前	13	
猪名川町役場	19	
ゆうあいセンター	9	終点
終点までの所要時間	108	

操車による回送時間は考慮していない。
 時間調整による停車時間は含まない。
 所要時間は時刻表による(待機時間は考慮していない)
 新たなルートの所要時間は、走行速度30km/hと想定し算定

ふれあいバス見直し素案

見直し案(その2)【ルートを見直し】



- ・ 路線短縮等により、1日3往復が可能に（週3日運行）
- ・ 北部地域からジャスコ猪名川店へのアクセス確保
- ・ 南部地域からゆうあいセンターへのアクセス確保
- ・ 南部地域は、路線バスとの重複区間を大幅に削減
- ・ 利用が少ない区間は運行休止

【Aコース】

バス停名称	所要時間(分)	備考
奥猪名健康の郷	-	起点
旭ヶ丘上	18	
ふるさと館	22	猪名川グリーンランド経由
大井	7	
ゆうあいセンター	3	
猪名川町役場	7	
ジャスコ猪名川店	6	終点
終点までの所要時間	63	

【Bコース】

バス停名称	所要時間(分)	備考
柏原	-	起点
旭ヶ丘上	16	
(木間生旭ヶ丘線経由)	-	
ふるさと館	7	
大井	7	
ゆうあいセンター	3	
猪名川町役場	7	
ジャスコ猪名川店	6	終点
終点までの所要時間	46	

【Cコース】

バス停名称	所要時間(分)	備考
千軒	-	起点
上阿古谷西	7	
荘苑自治会館前	10	
日生中央	8	東山まで47分
松尾台南四丁目	5	
猪名川町役場	2	
柏梨田	2	
さんかく緑地前	2	猪名川小経由
町営住宅前	1	
ジャスコ猪名川店	2	千軒から39分
ゆうあいセンター	10	
大井	3	
槻並仁部北	14	日生中央から38分
東山	9	終点
終点までの所要時間	75	

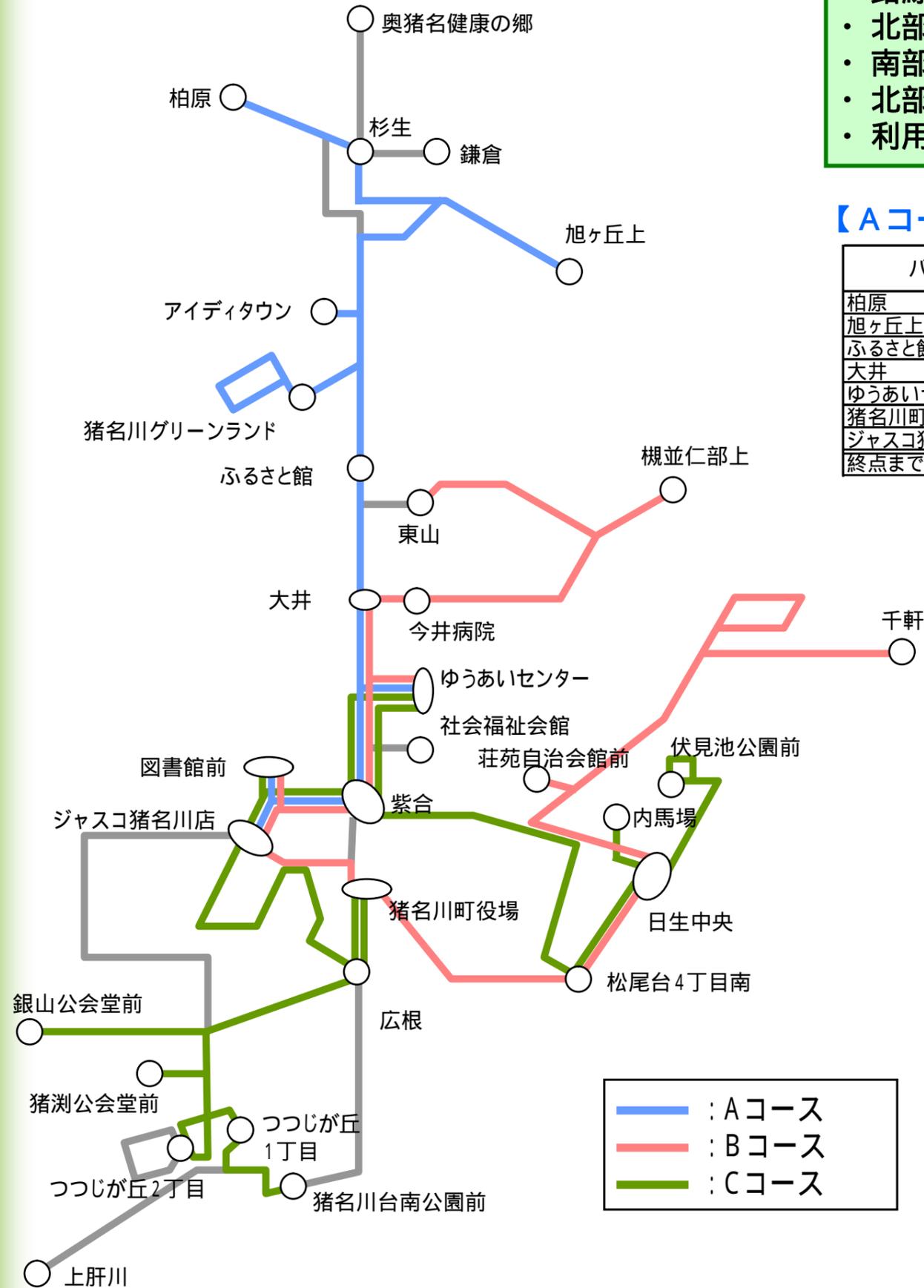
【Dコース】

バス停名称	所要時間(分)	備考
猪名川台南公園前	-	起点
つつじが丘一丁目	4	
つつじが丘二丁目	2	
猪淵公会堂前	3	
岡山公会堂前	5	
広根ニューハイツ前	4	
猪名川町役場	4	
さんかく緑地前	6	パークタウン東口経由
町営住宅前	1	
ジャスコ猪名川店	2	
ゆうあいセンター	10	
紫合	7	
松尾台南四丁目	8	
日生中央	5	
伏見池公園前	8	
日生中央	5	
内馬場	4	終点
終点までの所要時間	78	

操車による回送時間は考慮していない。
 時間調整による停車時間は含まない。
 所要時間は時刻表による(待機時間は考慮していない)
 新たなルートの所要時間は、走行速度30km/hと想定し算定

ふれあいバス見直し素案

見直し案(その3)【ルートを見直し】



- ・ 路線短縮等により、毎日2往復運行可能
- ・ 北部地域からジャスコ猪名川店へのアクセス確保
- ・ 南部地域からゆうあいセンターへのアクセス確保
- ・ 北部地域の運行ルートを1コースに集約
- ・ 利用が少ない区間は運行休止

【Aコース】

バス停名称	所要時間(分)	備考
柏原	-	起点
旭ヶ丘上	16	
ふるさと館	22	グリーンランド経由
大井	7	
ゆうあいセンター	3	
猪名川町役場	7	
ジャスコ猪名川店	6	終点
終点までの所要時間	61	

【Bコース】

バス停名称	所要時間(分)	備考
千軒	-	起点
上阿古谷西	7	
荘苑自治会館前	10	
日生中央	8	東山まで47分
松尾台南四丁目	5	
猪名川町役場	2	
柏梨田	2	
さんかく緑地前	2	猪名川小経由
町営住宅前	1	
ジャスコ猪名川店	2	千軒から39分
ゆうあいセンター	10	
大井	3	
槻並仁部北	14	日生中央から38分
東山	9	終点
終点までの所要時間	75	

【Cコース】

バス停名称	所要時間(分)	備考
猪名川台南公園前	-	起点
つつじが丘一丁目	4	
つつじが丘二丁目	2	
猪淵公会堂前	3	
銀山公会堂前	5	
広根ニューハイツ前	4	
猪名川町役場	4	
さんかく緑地前	6	パークタウン東口経由
町営住宅前	1	
ジャスコ猪名川店	2	
ゆうあいセンター	10	
紫合	7	
松尾台南四丁目	8	
日生中央	5	
伏見池公園前	8	
日生中央	5	
内馬場	4	終点
終点までの所要時間	78	

操車による回送時間は考慮していない。
 時間調整による停車時間は含まない。
 所要時間は時刻表による(待機時間は考慮していない)
 新たなルートの所要時間は、走行速度30km/hと想定し算定

見直しに向けた地域との協議プロセス

ふれあいバス見直し計画策定までのイメージ(素案)

平成22年度

3月

ふれあいバス見直し計画案の作成

意見交換会開催に向けた調整・準備

意見交換会は、地域において開催。
・まちづくり協議会(小学校校区を想定)
地域住民として、まちづくり協議会等のメンバーの参画を募る。

平成23年度

5月

ふれあいバス見直し検討のための
意見交換会開催(第1回)

ふれあいバスの現状と課題を踏まえた上で、見直し計画案及び持続可能な運行を目標とした各コースの見直し基準を提示し、利用促進に資する路線見直しの内容について意見交換を行う。
乗車時間、運行時間帯や運行本数・目標設定等について、参画を求めつくりあげる。



意見交換会開催のイメージ

意見交換会での意見を受けて、現地踏査や運行経費、ダイヤ等の検討を行い、見直し案を作成

7月

ふれあいバス見直し検討のための
意見交換会開催(第2回)

意見交換会の意見や現地等差結果等をふまえて作成した見直し案について、合意形成を図る。
見直し案について了承を頂く。



意見交換会開催のイメージ

9月

ふれあいバス見直し計画の策定

ふれあいバス見直し計画に基づいた運行計画作成、関係機関との調整、広報活動の実施

平成24年度

以降

ふれあいバス見直し計画に基づいた再編ルートでの運行開始

PDCA サイクルによるモニタリングとその事業評価による見直し・改善



資料中の時期は、現時点での予定であり、今後変更する可能性があります。

有料化により利用者が増加した事例

大阪府箕面市: オレンジゆずるバス

- 市民満足度の低いバスによる市内移動を充実させるため、箕面市公共施設巡回福祉バス(Mバス)に代わって、日常生活・社会生活の円滑な移動を確保する日常生活・社会生活の円滑な移動を確保する目的で、平成22年9月1日から、市内を循環する箕面コミュニティバス「オレンジゆずるバス」を運行している。
- 公共交通サービスを維持・向上するという視点から、サービスの共通化・共同実施、役割分担、課題の解決に向けた取り組みの実施等について路線バスとの連携を図り、共存・共栄できる関係を構築している。
- 市民協働による計画づくりの中で、評価・見直しを行う基準を設定しており、利用状況や市民の意向を把握し、この基準を基に毎年、市民協働による見直しを行うこととなっている。

利用者数の状況

【公共施設巡回福祉バス(Mバス)】

西部北コース	212
西部南コース	175
中部コース	110
東部北コース	274
東部南コース	78
止々呂美コース	1
計	850

調査日:平成21年6月19日(金)
(止々呂美コースは18日(木))

出典:箕面市地域公共交通活性化協議会資料
(第3回協議会(平成21年8月31日開催))

【オレンジゆずるバス】

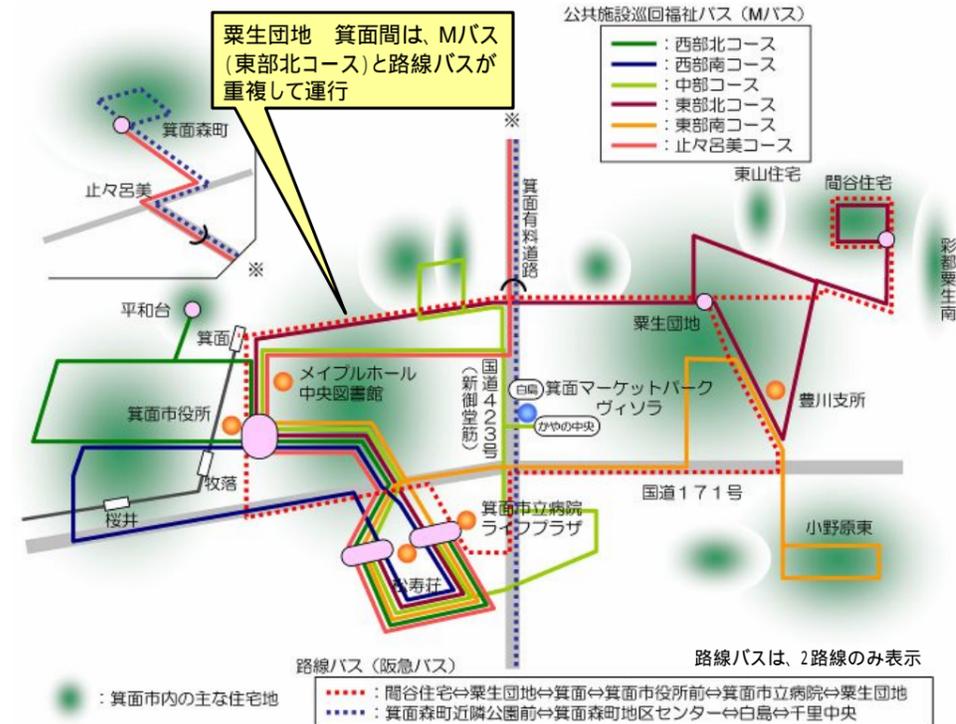
	全平均	平日	土曜日	日・祝日
緑ルート(西部北循環)	167	185	148	122
桃ルート(西部南循環)	176	200	160	108
赤ルート(中部循環)	132	147	126	86
青ルート(東部北循環)	266	296	252	176
黄ルート(東部南循環)	168	182	165	123
計	909	1,010	851	615

平成22年9月1日から10月31日までの平均

出典:箕面市地域創造部交通政策課HP

平成22年8月31日以前

【公共施設巡回福祉バス(Mバス)ルート図】



平成22年9月1日以降

【オレンジゆずるバスルート図】

